

前回検討委員会での 主な指摘事項

前回委員会での主な指摘事項

- 歩行者移動支援の普及促進のためには、国や地方公共団体、NPOなど多様な主体が協力し、進めていくことが必要。
- オープンデータを開始した次の段階として、例えばアイデアソンやハッカソン等により、データの利活用促進を図ることが必要。
- 国は、オープンデータを活用した歩行者移動支援サービスの成功事例を示すことが必要。
- データ所有者とデータ利用者のニーズとシーズをつなぐ仕組みが必要。
- オープンデータを活用し、サービスの開発を促すための、動機づけが必要。
- スマートフォンやアプリケーションの操作方法を教えてくれる歩行者移動支援デジタルボランティアといったボランティアな活動が必要。